

これでいいのか？小論文すらなく「プロ人材」採用

生駒市は 10 月 6 日、人材派遣会社エン・ジャパン（株）と連携して、右表のように 8 つの分野で 14 名程度の社会人採用を行うと発表しました。前ページの月額 35 万円、月額 2 万 4 千円以内の会計年度任用職員の報酬の条例改正は、やはり副業可能な「プロ人材」の採用を意図してのものとはっきりしましたが、採用方法には疑問があります。

■筆記試験のない採用試験で大丈夫？

採用試験の目的は標準職務遂行能力及び適性を有するかどうかを正確に判定することですが、社会人採用の試験科目は書類審査と面接、ネット上で受験する適性検査のみで、論文作成すら求めています。

地方公務員法第 17 条の 2 第 2 項には「人事委員会を置かない地方公共団体においては、職員の採用は、競争試験又は選考によるものとする。」とあり、「競争試験」と「選考」のいずれの方法によるかは任命権者の裁量に委ねられています。

しかし、右表のような資格や免許があるわけでもない職種について、口頭試問でもない面接試験だけで職務遂行能力を客観的に評価できるのでしょうか。

採用試験をすれば市長が儲かる！？

小紫市長には『公務員面接を勝ち抜く力』（2018 年 実務教育出版）という著書がありますが、市長自ら面接試験の審査員になっています。生駒市の採用試験の受験者は当然、試験対策としてこの本を購入すると思われ、エン・ジャパン(株)を使って大々的に採用試験を宣伝し、受験者が増えれば増えるほど著書が売れるわけです。



■令和 4 年 4 月採用の社会人採用の概要

試験区分		採用形態	採用人数
事務職	総合事務	任期のない常勤職員	5 名程度
	DX 推進		3 名程度
	教育改革		1 名程度
コミュニティデザイン		常勤の任期付職員	1 名程度
スマートシティ		または	1 名程度
エリアマネジメント		非常勤の会計年度任用職員	1 名程度
ファシリティマネジメント		(副業可)	1 名程度
最高デジタル責任者(CDO)			1 名程度

賛成討論なし！でも可決するフシギ

令和 2 年度生駒市一般会計決算認定議案

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症が市の財政にどう影響したかが審査ポイントのひとつでしたが、予測されたほど市税収入の落ち込みもなく、国や県からの新型コロナウイルス感染症関連の交付金が増えた一方、感染防止対応で中止になったイベントや事業があり、蓋を開けてみれば約 18 億円の黒字でした。

決算審査において議員は、決算書の計数の正確さや財政状況を確認するのはもちろんですが、市長はじめ自治体の職員が法令

を遵守して事業を適正かつ効果的に行っているかを審査しなければなりません。

令和 2 年度中の財務会計上の行為に 2 ページでご報告したような akippa（株）への土地の不適切な貸付があったほか、相変わらずいこま市民パワー（株）との随意契約で公共施設の電力を購入しています。これらは到底認定できる行為ではありませんが、右表の採決結果のとおり賛成多数で可決しました。賛成理由は討論が一切なかったためわかりません。

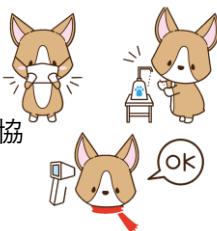
●「令和 2 年度生駒市一般会計決算の認定について」採決結果

中谷議長は議決に加わりません。

賛成 16	福中・白本・吉村(以上 凛翔 絆)、成田・恵比須・山下(以上 生駒市議会公明党)、梶井・中尾・中嶋(以上 緑生)、吉波(市民ネット)、山田(国民民主党)、上村(立憲民主党)、伊木・沢田・片山・加藤(以上 無会派)
反対 7	中浦・松本・改正(以上 大樹)、浜田・竹内(以上 日本共産党)、神山・塩見(以上 無会派)

サロン・ド・しおみ 茶論・de・403

とき 2021 年 11 月 20 日(土) 14 時～16 時
ところ 南コミュニティセンターせせらぎ
セミナー室 202・203



- 検温、手指の消毒、マスクの着用にご協力ください。
- 受付で連絡先のご記入をお願いします。
- 飲料等は各自でご持参ください。

編集後記

●市長好みの民間事業者との提携によるキラキラ系事業で次から次へと不適切な事務執行が発覚する生駒市。自治体は民間と異なるルールで公平公正に契約を締結する必要がありますが、民間企業に有利に契約を結び、市民の財産を減らしています。●国政選挙も終わりましたが、私たちの暮らしに最も近い基礎自治体の政治にもご注目ください。

塩見 牧子



Contents

Page 1 ㊦市制施行 50 周年

Page2 akippa(株)への利益供与？市有地を安値で貸付け

Page3 市長自ら審査を依頼しながら退席・中抜け
ここが問題！公民連携協定／例規の適時適切な管理を
報酬基準は市長の裁量ではなく規則で

Page4 これでいいのか？小論文すらなく「プロ人材」採用！
賛成討論なし！でも可決するフシギ
茶論・de・403 のご案内／アンケートのお願い／編集後記

塩見牧子（しおみまきこ） 1965 年 3 月 8 日大阪生まれ。1972 年に生駒に移り住む。生駒東小学校、緑ヶ丘中学校、京都女子高等学校、同大学卒業。同大学大学院文学研究科修了。会社員、学校図書館司書、中・高非常勤講師を経て 2007 年 4 月、生駒市議会議員に初当選。①将来世代に元気なまちのバトンを渡す、②誰もが生きづらさを感じることなく暮らせる共生社会をつくる、③フェアで市民本位の市政運営を築くための取組みやしくみづくりの提案を活動公約としています。

しおみ 塩見まきこ

市議会 newsletter 2021 年／秋号



1971 年 市制施行 旧市役所庁舎

市制施行の翌年、小学校 2 年生の夏に大阪から生駒に越してきました。生駒に住んで最初に感じたのは、「水が冷たくておいしい!」ということでした。



1981 年 建設中の新庁舎

ニュータウン開発が進み人口急増。小学校でも中学校でも在籍中に学校の分離新設がありました。10 年間で 5 小学校、2 中学校が開校しました。



1991 年 奈良先端科学技術大学院大学開学

通学も通勤も京都や大阪へ。とりあえず選挙には行くけれど日中は生駒市内にはおらず、市政に関心もない典型的な「奈良府民」でした。



2001 年 市立保育園 O157 集団感染事件

息子が通園していた保育園の保護者会会長をしていた時に起こった悲しい出来事。保育行政に関心を抱き、市政に関わるきっかけとなりました。



祝 市制施行 50 周年

生駒で育ったからこそ、
これからも
健全なまちの発展のため、
“まっすぐ”に取り組めます。

* 2001 年の保育園の写真以外は生駒市オープンデータポータルサイトから引用。

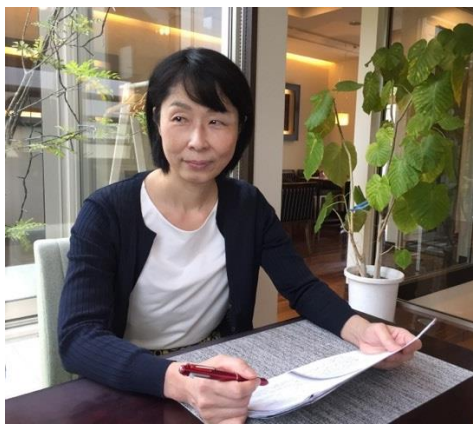


2011 年 市制施行 40 周年

汚職事件で市民の議会に対する目が最も厳しかった 2007 年の市議選で初当選。市制 40 周年の際は生駒駅前の記念時計の除幕式に参列しました。



2021 年



blog



Facebook



Twitter